

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工観光課

1 施設の概要等

施設名	府中市多機能拠点施設(道の駅びんご府中)		
所在地	府中市府川町230番地1		
設置目的	道路利用者に対し良好な休憩場所を提供するとともに、地域の情報の発信及び地域の特産品の販売等を通じて、市民等の交流の促進及び産業の振興に寄与することを目的とする。		
施設・設備	道の駅びんご府中		
指定管理者	R4.4.1	～	R9.3.31 株式会社天満屋ストア

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	173,000 人	145,570 人	1,236 人	-27,430 人	84.1%	%
	R5	182,000 人	151,585 人	6,015 人	-30,415 人	83.3%	%
	R6	190,000 人	158,936 人	7,351 人	-31,064 人	83.7%	%
	R7	198,000 人	159,956 人	1,020 人	-38,044 人	80.8%	%
	R8	207,000 人	人	- 人	人		%
増減理由	令和7年度は、前年実績を上回りはしたが、施設全体の78%の売上を占める産直市の出荷者増や出品数増に関わらず、令和7年度の米騒動による伸びを大きく上回ることが出来なかった。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】	
	所定のアンケート用紙に記載していただく		アンケート提出者 45件	
	【主な意見】		【その対応状況】	
	駐車場の不正使用に対する苦情と対応策の検討実施		広島行リードライナー利用者には、別途臨時駐車場をご案内、又貸し切りバス対応時も臨時駐車場をご案内	

4 市の業務点検等の状況

項目					実績	備考	
報告書	年度				○		
	月報				○		
	日報(必要随時)				×	必要なかったため。	
管 理 運 営 会 議						【特記事項等】	
12 回 会場 道の駅					・必要な修繕について計画し、R6年度の実施に向けて予算の確保ができた。 R7年度以降も必要性について協議し、計画的な修繕を行っていく。		
現 地 調 査 (実 施 月)					【指定管理者の意見】		
					・引き続き報告と意見交換協議を実施。		
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】		
○	○	○	○	○	・労働条件チェック(R7年4月28日)		
6月	7月	8月	9月	10月	・道の駅定例会、産直連絡会(毎月1回開催)		
○	○	○	○	○			
11月	12月						
○	○						

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	14,500	-		R4	140	-
	R5	14,500	0		R5	103	-37
	R6	14,500	0		R6	49	-54
	R7	14,500	0		R7	130	81
	R8				R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R6決算額	R7決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	14,500	14,500	0	
	料金収入	702	1,578	876	レストラン手数料1,440千円受入れ
	その他収入	6	530	524	
	計 (A)	15,208	16,608	1,400	
	支出				
	人件費	2,455	2,552	97	
	光熱水費	4,381	3,916	-465	レストランから電気代1,770千円、水道代285千円受入れ
	設備等保守点検費	322	558	236	
	清掃・警備費等	4,944	5,045	101	
	施設維持修繕費	798	289	-509	前年より当社負担分修繕箇所減
	事務局費	6,122	6,768	646	
	その他支出	4,098	3,876	-222	
	計(B)	23,120	23,004	-116	
収支①(A-B)		-7,912	-6,396	1,516	
自主事業	収入 (C)	31,302	29,759	-1,543	
	支出 (D)	17,185	16,827	-358	
	収支②(C-D)	14,117	12,932	-1,185	
合計収支 (① + ②)		6,205	6,536	331	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	道の駅運営においては、来駅されたお客様にご満足いただき、又来たいと思って頂けることを念頭に日々取り組んでいる。特に、施設全体の78%の売上を占める産直市では、「安くて新鮮」というお客様の評価に応えられるよう、新鮮な商品を保てるよう従業員一同で鮮度管理に取り組んでいる。又、物販イベントだけでなく、歳時記に合わせたお接待や、お客様が参加出来るイベントの開催、ミニイベントを行う事でお客様の満足度を高めて頂けるよう取り組んでいる。この取組内容は、現場に一番近い女性係員や出荷者の方の意見・アイデアを吸い上げて実施している。又、次年度はOPEN10周年を迎える年であり、経年劣化による故障箇所が出始めており、計画的な修繕が必要となっている。更に近年では、施設自体が手狭になってきており、今後の施設運用に向けて抜本的な改善策が必要であると考えている。	・日々の施設運営管理について、日々の保守、点検、修繕等、丁寧かつ迅速に対応いただいている。 ・産直市場の運営管理については、JAなどと連携して新たな出荷者獲得に尽力いただくとともに、新たな出荷物や出荷量の増加につながるよう取り組んでいただいた。その結果として、年々出荷量が上がり、売上額とレジ通過客数が右肩上がり。 ・自主事業の企画も前例を踏襲するのではなく、お客様に喜んでいただけることを第一に、日々新しいものを考え、実行いただいている。 ・10周年に向けてイベントの企画や必要な修繕等の計画についても丁寧に対応いただいており、施設の今後についても親身に考えてくださっている。 ・コロナ等の影響により目標数値に到達していないが、状況を踏まえると十分に尽力いただいていると評価している。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	○日々、当たり前な事を当たり前に取り組む。 ○昨年道の駅北隣に府中市民プールがOPEN。近隣施設と連携しての運営をはかる。 ○OPENして10周年の節目の年となる為、記念イベントの開催と施設の経年劣化による故障箇所の計画的な修繕を行う。 ○施設自体が手狭となってきている為、短期的な対策のみならず、抜本的な運用案を策定する。 ○客数が前年と比較し微増で留まっている為、集客策も含めた施策が必要と考える。	・施設の運営管理、産直市場の運営については現状の取組をベースに、さらなる成長に向けて、取り組めることから日々取り組んでいただきたい。 ・道の駅、i-coreFUCHUに加えて、プールとの連携強化に向けて対応いただくとともに、エリア全体での情報共有、取組の加速に向けて、引き続き尽力いただきたい。 ・修繕や設備の更新については、日々のコミュニケーションの中で、短期、中長期のそれぞれの視点で更新の計画を策定し、予防修繕に努める。 ・市の特産品のさらなるPRに向けて、HPを利用するなど、新たな取り組みをいただきたい。